

こんな活動です

熟議を通して、学校・地域・家庭が連携・協働し活動する西宮の教育連携協議会

兵庫県西宮市

活動名

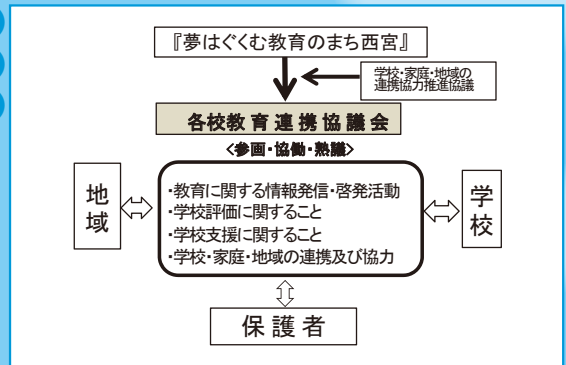
西宮市教育連携協議会

関係する学校名

市内小・中学校 61校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 0人	ボランティア登録数 7965人	学習支援 有	開始年度 21年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	実施場所		学習支援			放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要
 平成 21・22 年度の 2 か年をかけて市内全ての小中学校に設置した「教育連携協議会」は、学校評価などをもとに「目指す子供、学校、地域の像」を定め、その達成に向けて、学校・家庭・地域が連携、協力して取り組むための熟議の場である。子供のよりよい生活や学習環境づくりなど、子供に繋がる様々なことを、地域と学校がコラボレーションし、子供の育ちに地域全体が関わる活動を通じて、学校だけでなく地域も活性化する、地域とともにある学校づくりの仕組みである。この「教育連携協議会」を中心に、地域の学校教育活動への参画と協働を促進する「教育連携事業」を積極的に実施している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・教育連携協議会は、年間を通じて学校経営方針・子供の様子（生活・学力・友人関係）・学校行事について話し合っている。また、年度末には学校評価を行い結果を公開している。
- ・教育連携協議会の委員は青少年愛護協議会・自治会・スポーツクラブ 21 など地域団体の代表、PTA 役員、教職員等で構成。教育連携協議会の場を使って学校を取り巻く諸課題の解決に向けての取組を協議することにより、地域の人々のつながりを深めるネットワークの構築を目指している。
- ・教育連携協議会での議論を経て、学校や地域の実情に応じた取組が行われている。主な取組として「昔あそび」「学校と地域が行う津波避難訓練」「地域の夏祭りの手伝いを呼びかける地区別生徒集会や一夏一善活動」「幼保小中高生が出演する地区コンサート」「地域の人と中学生が討論する中学生フォーラム」「小中合同協議会」などを実施している。

【実施に当たっての工夫】

- ・統括コーディネーターが年間を通じ、全ての学校を 2～3 回訪問し、活動の状況を聞き取りしながら、課題に応じた助言や他校の様子などを情報提供を行う。また、教育連携協議会等に参加することもある。
- ・協議会の委員を対象に全体研修会・報告会を実施して教育連携協議会の在り方や活動についての意識の向上を図っている。
- ・事業実施後に評価・検証を行うことにより、地域の声を教育連携協議会に届け、保護者や地域に対して開かれた学校づくりを図っている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・子供たちは地域の方と触れ合うことが多くなり、地域とのつながりを深めるきっかけとなった。
- ・教育連携協議会を開催することで、学校のニーズと地域の考えを交流する場ができた。今まで十分に情報交換できていなかった内容でもしっかりと話すことができるようになった。
- ・地域の代表である委員に学校に来てもらうことで、学習の様子や子供たちの様子を丁寧に見てもらうことができるようになった。その結果、学校に対する信頼が築けている。

● その他

「夢はぐくむ教育のまち西宮」を理念として、教育連携協議会をさらに充実していく。



安井小学校
教育連携協議会・会議風景



上ヶ原中学校地区別生徒集会
地域の方と生徒の交流の様子